

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX; 03-3247-8660 E-Mail; ikuma@gakushikai.jp

HP; <http://homepage3.nifty.com/ikuma> (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員(区政杉並クラブ所属。現在、幹事長)。平成19年5月より2期目。

趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族: 妻、長男(5歳)、長女(2歳)、次男(0歳)。

## 区民税減税は可能か

～「減税自治体構想」の研究が進められています～

平成19年度から、区民税の独自減税に向けた研究が「杉並区減税自治体構想研究会」にて行われています。

1月末の研究会では、「10年後から、恒久的に10%の減税が可能」との試算が示されました。

### 現在の財政運営

**歳出総額: 1,500億円**(そのうち、**借金返済: 150億円**)

**貯金残高: 570億円**(平成19年度)

**借金残高: 384億円**(平成19年度) ➡ 平成23年度末までにゼロにする予定

### 研究会の試算

- 現在借金返済に充てている150億円を、借金完済後も毎年貯金する
- 10年後からは、貯金の利子と一部取り崩しで、恒久的に区民税を10%減税**できる

### 岩田いくまの見解



公会計には「単年度主義」の原則がありますが、将来への備えとして、ある程度の貯金をすることは必要だと考えます。

一方で、「行革の成果」を区民の皆様  
に還元するためにも、減税の実現は  
早い方が良いでしょう。

したがって、**借金完済後は、**

●**区民税1割減税の即時実施(財政規模は50～60億円)**

●**貯金の継続(財政規模は90～100億)**

とし、**減税と将来への備えの両者を目指すべき**ではないか、と予算特別委員会にて質問・提言しました。

### 減税自治体構想

区の末永い発展のため、毎年一定額の財源を積み立てて財政のダムをつくり、必要に応じてその果実を活かしつつ、将来はその利子で区民税の減税につなげていく構想



予算特別委員会にてパネルを使って質問

## 本会議での質問(1)

平成20年区議会第1回定例会の初日(2月16日土曜日)、区長の予算編成方針に対し会派を代表して質問を行いました。

以下、その概要を取り上げます。

### 岩田いくまの質問

### 区長の答弁

#### 医療



救急医療だけでなく、在宅医療も含めた医療の相談窓口が必要だと考えるが、いかがか。

小児救急の充実に向けた今後の取組みを伺う。

高齢者の在宅での生活を地域で支えていくためには、在宅医療についても情報センターが必要だと考える。どのような形態で設置するかを検討していきたい。

現在は週に4日、24時間の医療提供体制を整えた。今後は、24時間365日の小児救急医療が確保できるよう、区として必要な支援を講じていきたい。

#### 高齢者向け施策

在宅療養・在宅介護体制の充実・強化に向けた検討の進捗状況を伺う。

現状や課題について整理し、医療関係者等と意見交換を実施している。

平成20年度に改定する保健福祉計画や介護保険事業計画のなかで、具体化していきたい。



介護における最前線の相談窓口機能を果たしている「ケア24」の、今後の役割に対する認識を伺う。

「ケア24」は高齢者の地域での自立した生活を総合的に支援する“地域包括ケア”の中核機関である。

- 高齢者の身近な相談窓口として区民への定着
- 要援護高齢者に対する医療・介護の連携拠点となるよう、支援に努めていく。

#### 子育て支援

発達障害等の「配慮を要する児童」への、具体的な支援策を伺う。

配慮を要する児童に対しては、早期発見と適切な相談・支援が重要である。

専門医や心理職による「発達専門相談」や少人数による「グループ指導」を新たに実施していく。



子供の予防接種に、子育て応援券を利用可能としてはどうか。

インフルエンザ予防接種については、子育て応援券の対象としうるのではないかと、いう方向で議論している。

教育

公教育の役割とは何か。



岩田議員が引用された「区民一人ひとりが個性や能力を発揮し、生き活きと活躍する」こと、そのために必要な生きる基礎を培い、必要とされる基本的な資質を養うことが、公教育の役割であると考えている。

脳科学に関する知見や他国の政策も参考とし、就学前教育の環境整備を図っていくべき。

\* ノーベル経済学賞を受賞した米ヘックマン教授の政策実験や、英ブレア政権の「シュアスタート」という包括的プログラムを例として取り上げました。



就学前教育は重要と認識している。  
発達段階に応じた適切な就学前教育を推進する観点から、様々な学術的知見等も研究し、今後の環境整備に活かしていきたい。



まちづくり／地域活性化

新たに設けた「地域活性化助成」によって、どのような課題を解決しようとしているのか。



自治会・町会活動の活性化を図るために、  
●現役世代など様々な年齢層が参加できる事業  
●NPOなど各種団体との連携で進める事業  
に助成を行い、地域住民の絆を深めたい。

地域活性化に向けた区民それぞれの取組みは、防犯や子育て、教育の分野等で既に現れてきている。  
各々の活動の良さ・自律性を残しつつ、連携を図る仕組みをどう作っていくのか。



なかなか良い知恵がない。  
今後の大きな課題である。



その他に、

「土曜議会の在り方」「都区制度改革」「議会と執行機関(行政)の役割分担」「情報システムの有効活用」「30人程度学級」「学校と地域の関係」「行政組織の在り方」「職員防災訓練」「旧NHKグラウンドの今後」「ごみの分別・収集方法変更と環境政策」「資源ごみの排出抑制策」「電力の入札」

等についても質問いたしました。

質問及び区長・教育長の答弁は、区議会公式ホームページから録画中継を見ることができますので、是非ご覧ください。

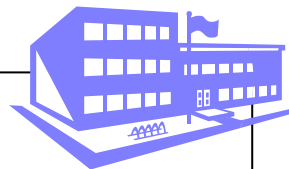
なお、今回初めて取り組んだ「土曜議会」には、117名の方に傍聴いただきました。ありがとうございました。今後も「開かれた議会」を目指して議会改革に取り組んでまいります。

次回の土曜議会は、6月14日(第2回区議会定例会初日)の予定です。



# 教育は誰が担うのか

～ 学校と地域の役割分担をめぐる、私の考え ～



教育をめぐるは、人それぞれ「持論」があります。

また、「学力向上」「体力向上」にとどまらず、「コミュニケーション教育」「情報教育」「国語教育」「論理力教育」「英語教育」等々、「やった方がよい教育」は、無数にあります。

そうした中で、私は学校教育をめぐる枠組みを、下記のように考えています。

|          |                                                                                                                                                   |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校の役割    | <ul style="list-style-type: none"><li>●「<u>必ずすべきこと</u>」の実施</li><li>●学校としての“特色ある教育”の実施</li><li>●「やった方がよい」が、先生だけでは対応できない教育の、<u>地域への要請</u></li></ul> |
| 地域の役割    | <ul style="list-style-type: none"><li>●<u>学校からの要請への対応</u></li><li>●「<u>やった方がよい</u>」ことを自ら実施</li></ul>                                              |
| 教育委員会の役割 | <ul style="list-style-type: none"><li>●「必ずすべきこと」の決定</li><li>●「やった方がよい」ことを学校・地域が取り組む際の<u>支援</u></li></ul>                                          |



予算特別委員会では、このような視点から区の教育政策の方向性を質問し、

「学校や地域の創意工夫を尊重する」

という区の姿勢を確認しました。

-----<キリトリ>線-----

-----<キリトリ>線-----

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

**FAX: 03-3247-8660**

**E-Mail: ikuma@gakushikai.jp**

お名前:

ご住所:

TEL:

FAX:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望: